

2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月15日

上場会社名 株式会社スタメン
コード番号 4019 URL <https://stmn.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員CEO (氏名) 大西 泰平
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CAO (氏名) 中谷 奈緒美 TEL 052 (990) 2470
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	812	40.6	47	69.9	49	78.5	23	—
2024年12月期第1四半期	577	40.3	27	△43.2	27	△43.4	△1	—

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 23百万円 (—%) 2024年12月期第1四半期 △1百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	2.65	2.61
2024年12月期第1四半期	△0.17	—

(注) 2024年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	2,043	1,341	63.4
2024年12月期	2,165	1,345	60.1

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 1,294百万円 2024年12月期 1,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	—	—

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点において、2025年12月期の配当予想額は未定であります。

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	1,617	31.4	30	246.5	30	218.1	19	△198.4	2.25
通期	3,515	30.5	100	△55.5	100	△55.5	58	△57.3	6.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期 1 Q	8,765,000 株	2024年12月期	8,745,000 株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	110 株	2024年12月期	110 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期 1 Q	8,760,223 株	2024年12月期 1 Q	8,685,690 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当社は、「一人でも多くの人に、感動を届け、幸せを広める」という理念のもと、「人と組織の力」と「テクノロジーの可能性」を活かしたサービスを展開しています。変化の激しい時代においても、自己変革を恐れず、多様な事業領域に挑戦することで、企業としての社会的意義を果たすことを目指しています。社名に込めた「スターのように輝くメンバー」の育成を重視し、明確な行動指針「STAR WAY」を軸に、成果へのこだわりや挑戦、変化適応力、チームの一体感などを大切にしながら、継続的な企業価値向上に取り組んでいます。

主要サービスであるエンゲージメントプラットフォーム「TUNAG（ツナグ）」及びオンラインコミュニティプラットフォーム「FANTS（ファンツ）」を事業軸として事業拡大を進め、創業事業であるエンゲージメントプラットフォーム「TUNAG」を通じて得た知見を活かし、100%子会社である「株式会社STAGE」を2021年に設立し、エンゲージメント経営を人材採用の視点から支援する新しい人材紹介事業の運営を開始しております。また、意思決定の迅速化のため、100%子会社である「株式会社スタジアム」を2023年1月に設立し、「FANTS」の更なる事業展開を進めております。2023年2月にはクラウドセキュリティサービス「Watchy（ウォッチャー）」の提供を開始しました。

当社グループが従業員エンゲージメント事業として提供している「TUNAG」及びコミュニティエンゲージメント事業として提供している「FANTS」ともに、成長性の高い市場を領域に属していると認識しております。「TUNAG」につきましては、テクノロジーの進化や働き方に対する価値観の変化が急激に進むこの時代に、事業や会社の長期的な成長を左右するのは「人と組織」の強さと捉えて、企業と従業員、そして従業員同士の相互信頼関係であるエンゲージメントの高い会社作りを推進するサービスを展開しております。生産年齢人口の減少が続き、人材定着や離職改善への意識は今後一層高まっていくことが予想され、最近のHR Techの展示会でエンゲージメントにフォーカスしたサービスが取り扱われ、また、エンゲージメント関連の書籍の出版も増えております。「FANTS」につきましても、SNSの発達によって個人による情報発信の機会が広がる中で、オンラインサロン市場が拡大しております。サロンの開設者としても著名人からSNS上でフォロワーが多い一般人等に広がり、利用者としても若年層・ネットユーザーを中心に認知度を高めております。その中で、当社グループは、「企業向けのエンゲージメント市場」と「コミュニティ向けのエンゲージメント市場」の2つのエンゲージメント領域で、企業向け、コミュニティ向けの異なる市場を開拓することで、グループで培ったノウハウを活かし、多面的な収益拡大を図ってまいります。

このような結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は売上高812,384千円（前年同四半期比40.6%増）、営業利益47,434千円（前年同四半期比69.9%増）、経常利益49,734千円（前年同四半期比78.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益23,194千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,486千円）となりました。

当社グループは、エンゲージメントプラットフォーム事業を主な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の記載は省略しております。そのため、当第1四半期連結累計期間における実績を事業部門別に記載しております。事業部門別の概況は次のとおりであります。

（従業員エンゲージメント事業「TUNAG（ツナグ）」）

従業員エンゲージメント事業は、Webマーケティングの強化やWeb商談の活用により、潜在的な需要へのアプローチに注力してきました。加えて、利用企業向けのオンラインイベントの開催など利用企業の支援（カスタマーサクセス）の強化、タクシー広告などのプロモーション活動にも取り組んでおります。その結果、エンゲージメントプラットフォーム「TUNAG」は堅調に成長を続け、2025年3月末時点での利用企業数は1,116社（前年同四半期比297社増）、平均MRRは197千円（前年同四半期比2千円増）となりました。

（コミュニティエンゲージメント事業「FANTS（ファンツ）」）

コミュニティエンゲージメント事業は、「TUNAG」が保有する組織運営・組織活性化に有用な多数の機能をコミュニティ運営向けに拡張・再構築し、2020年5月よりコミュニティ運営プラットフォーム「FANTS」の提供を開始しました。運営コミュニティの精査と戦略変更を実施し、運営コミュニティ件数は一時減少したものの、売上高の成長性は上昇基調に回帰しています。その結果、オンラインコミュニティプラットフォーム「FANTS」の2025年3月末時点での運営コミュニティ数は288件（前年同四半期比152社増）、平均MRRは49千円（前年同四半期比45千円減）となりました。

（人材紹介事業「STAGE（ステージ）」）

人材紹介事業は、エンゲージメント経営を人材採用の視点から支援する新しい人材紹介事業として2022年4月から本格的に事業を開始しました。当第1四半期連結累計期間においては、市場環境の変化や競争の激化により、収益性は低迷しており、前連結会計年度に引き続き、事業計画や組織体制の見直しを行っております。市場開拓や知名度向上のための成長投資コストが引き続き発生している状況ではありますが、ターゲット市場の再選定や広告費用の効率化により、収益構造の改善に向けた取り組みを進め、事業の持続可能性を高めてまいります。

（注）平均MRR：対象月末時点における月額利用料の合計を利用企業数、運営コミュニティ件数で除した金額です。一時的な売上高は含みません。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ122,285千円減少し、2,043,263千円となりました。これは、主に現金及び預金が263,895千円、その他の流動資産が20,164千円減少した一方で、売掛金が166,178千円増加したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ118,144千円減少し、701,820千円となりました。これは、主に契約負債が86,421千円、未払法人税等が69,210千円減少した一方で、短期借入金が50,000千円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ4,141千円減少し、1,341,443千円となりました。これは、主に新株予約権が3,644千円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益23,194千円と、剰余金の配当の支払い34,979千円により利益剰余金が11,785千円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年2月14日の「2024年12月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,137,780	873,885
売掛金	74,368	240,547
商品	4,368	4,411
その他	106,784	86,620
貸倒引当金	—	△2,977
流動資産合計	1,323,302	1,202,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	120,794	118,234
その他（純額）	33,800	36,671
有形固定資産合計	154,594	154,905
無形固定資産	13,080	12,101
投資その他の資産		
役員に対する長期貸付金	550,000	550,000
その他	134,379	133,896
貸倒引当金	△9,807	△10,126
投資その他の資産合計	674,572	673,770
固定資産合計	842,246	840,777
資産合計	2,165,549	2,043,263
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	50,000
未払金	107,272	136,627
未払費用	150,055	125,238
契約負債	334,699	248,278
未払法人税等	95,524	26,313
その他	96,028	80,625
流動負債合計	783,580	667,083
固定負債		
長期借入金	6,680	5,015
資産除去債務	27,914	27,932
その他	1,789	1,789
固定負債合計	36,383	34,737
負債合計	819,964	701,820
純資産の部		
株主資本		
資本金	78,900	80,900
資本剰余金	1,008,359	1,010,359
利益剰余金	215,343	203,557
自己株式	△98	△98
株主資本合計	1,302,504	1,294,718
新株予約権	43,080	46,724
純資産合計	1,345,584	1,341,443
負債純資産合計	2,165,549	2,043,263

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）
売上高	577,604	812,384
売上原価	130,064	210,618
売上総利益	447,539	601,765
販売費及び一般管理費	419,625	554,331
営業利益	27,914	47,434
営業外収益		
受取利息	5	1,393
ポイント還元収入	850	1,301
その他	82	670
営業外収益合計	938	3,365
営業外費用		
支払利息	81	93
投資事業組合運用損	910	972
営業外費用合計	992	1,065
経常利益	27,860	49,734
特別利益		
新株予約権戻入益	—	269
特別利益合計	—	269
税金等調整前四半期純利益	27,860	50,003
法人税等	29,347	26,809
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△1,486	23,194
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△1,486	23,194

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△1,486	23,194
四半期包括利益	△1,486	23,194
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,486	23,194

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）

当社グループは、エンゲージメントプラットフォーム事業を主な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）

当社グループは、エンゲージメントプラットフォーム事業を主な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	6,820千円	8,672千円